

# WEEKLY NEWS 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ 2011-2012年度

例会日：水曜日  
 第1・第2 夜間・18:30～  
 第3・第4・第5 昼間・12:30～  
 例会場：華月殿 和歌山市屋形町 2-10  
 事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23  
 サイバーリンクス N-4ビル 2階  
 TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200  
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>  
 E-mail : a-rotary@coral.cypress.ne.jp

会長：溝落和作 幹事：籠田 弘  
 ｸﾞﾗﾌﾞ 会報委員長：赤在依美 副委員長：郷間博敏



週報  
 通算 1986回  
 26号



ミスランラン科 多年草  
 開花期 六月～七月

本日の例会  
 2月15日(水)  
 12:30～華月殿

ロータリーソング：それこそロータリー  
 行事：外部卓話  
 「言語聴覚士をご存知ですか」  
 言語聴覚士 板倉登志子先生

次回の例会  
 2月22日(水)  
 12:30～華月殿

行事：外部卓話  
 「当面の投資環境と運用戦略」  
 三菱UFJモルガンスタンレー証券  
 和歌山支店長 田川克彦様

## 先週例会報告

ゲスト・ビジターはございません。

会場監督 中谷敬子

## 会長報告

溝落和作 会長

- 熊本東南ロータリークラブより創立28周年記念例会への出席依頼が届いています。  
 日時：4月11日(水)18:30～、姉妹クラブ委員会の皆様よろしくお願ひ致します。
- 台北東南ロータリークラブよりネパール校舎増築が終了し完成式典が3月5日(月)に行われます。  
 式典に参加要請がきています。国際奉仕委員会の皆様、よろしくお願ひいたします。
- 「続 財団寄付の行方」について、山本唯二会員に卓話していただきます。



## 幹事報告

籠田 弘 幹事



- 1) 和歌山 RC から創立75周年記念式典の案内が来ています。  
 4月28日(土) 13時 記念講演 ロイネットホテル  
 17時 記念式典 ホテルグランヴィア  
 18時 記念祝宴 同上
- 2) 地区大会のパンフ配布とゴルフ出欠表を回覧しています、確認して下さい。
- 3) アンコール小児病院の赤尾女史からレポートが届いています。各テーブルに置いてあります、ご覧下さい。

## ニコニコ箱

山田さち子会計

溝落君・寒さ厳しき折、  
 お体をご自愛ください。  
 堀君・今日は雪が降ってきました。  
 配偶者お誕生日お祝い・土屋君。



## 米山記念奨学会

山田さち子会計

奥村君・寒いので皆様 お体にはお気をつけください。

## ロータリー財団

山田さち子会計

溝落君・皆様、風邪に注意しましょう。  
 奥村君・山本副委員長様、卓話ががんばってください。  
 堀君・\$1000 達成しました。

## ＜表彰＞ ロータリー財団委員会 山本唯二副委員長

- ベネファクター 溝落和作会員
- ポールハリスフェロー 堀 昌弘会員

## 新しい演台です。2012年2月1日～



## ＜ロータリーの効用＞ ①ロータリーは心の友をつくる。

|    | ニコニコ      | 米山奨学金   | ロータリー財団 | 東南育英会  | 東日本大震災<br>義援BOX |
|----|-----------|---------|---------|--------|-----------------|
| 累計 | 1,503,397 | 264,000 | 442,800 | 11,000 | 37,000          |

| 出席報告   | 出席者     | 出席率        |
|--------|---------|------------|
| 会員総数   | 51名 2/8 | 37名 74.00% |
| 出席免除会員 | 2名 1/21 | 45名 88.24% |



昨年11月財団月間のフォーラムで少しお話をさせて頂きましたが、ロータリー財団の寄付金がどのように活用されているかを、知って頂く為に「ロータリー財団への寄付金の行方」という資料を用意致しました。

寄付金には、大きく分けて3種類あります。①年次寄付 ②恒久基金 ③使途指定寄付の3つです。

① 年次寄付は、3年間運用されて、3年後に50%が地区財団活動資金(DDF)として活用され、残りの50%は国際活動資金(WF)として活用されます。この50%、50%に分けることをシェア・システムと呼んでおります。その運用収益は、ロータリー財団自体の運営費(職員の費用など)と、寄付増進費(寄付増進の為のPR費用)に使われます。

② 恒久基金は、ロータリー財団の基金として、元本に手をつけずに積立てされます。その運用収益は、寄付者が希望すれば、収益金の50%がDDFとして活用できます。

③ 使途指定寄付は、その名の通り、使い道を指定した寄付金です、例えば、ポリオ・プラスパートナーやマッチング・グラントなどに寄付する場合などです。

当地区では、DDFを全て国際親善奨学金に活用しております。

寄付金には、3種類ありますが、その違いを意識して寄付されている人は意外と少ない様に思います。今後寄付をして頂く場合には、是非とも寄付金の目的を意識しながらお願い致します。年次寄付と恒久基金寄付は同時に重要であり、両方でお互いに補い合っています。年次寄付は今日の財団プログラムを支え、恒久基金は明日へのプログラムを安定したものにします。通常1000ドルの寄付者はベネファクター(後援者)として認証状を受ける事ができます。当クラブは毎年、その年度の会長にお願いしてベネファクターになって頂いております。

2001年の規定審議会でロータリー財団では、毎年1人の年次寄付を100ドルにするという決議が採択されました。当地区目標を200ドルとして皆様にご協力を頂いております。

しかし、ロータリー加盟国(160余国)の経済環境や社会事情はそれぞれ大きく違って100ドルに対する価値観も異なります。寄付金の多い地区も、少ない地区も平等にロータリーの奉仕活動が出来るように、国際活動資金(WF)が存在します。例えば、寄付金が全く無い地区でも、GSEの交換費用はWFから出ますので、GSEのプログラムに参加できます。また、WFからマッチング・グラント補助金を受けることによって、平和プロジェクトを提唱して実行できるようになります。

私共のクラブは、毎年2月にその年度の人頭分担金100ドル(前期・後期に会費に各50ドルを徴収)を国際ロータリーに支払っています。これは、国際ロータリーを管理・運営するための会員の負担金で、職員の費用、印刷物、国際大会の費用等をまかなっているのです。そして色々な奉仕活動の費用は、全てロータリー財団からでているのです。

「未来の夢計画に基づく新補助金」

#### 1) ロータリー財団新地区補助金

新地区補助金は、現行の地区補助金と似ていますが、多くの点で異なります、地元社会でも海外でも、またロータリーのない国でも事業を実施できます。

★全ての新地区補助金はロータリー財団の使命を守るものであること。

★ロータリアンの直接参加を含むこと(ロータリアンが汗を流す活動であること)

#### 2) ロータリー財団グローバル補助金

グローバル補助金は、6種類の重点分野に実施します。

- 平和と紛争予防・紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生設備
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率の向上
- 経済と地域社会の発展

I.M.懇親会(オテル・ド・ヨシノ) 17:30~19:00 手に手つないで

